GAP部門

農産局長賞

株式会社国太郎

所在地	群馬県伊勢崎市山王町613番地2
認証	JGAP
応募区分	個別経営の部
面積	4.7ha
構成員	45名
栽培品目	こまつな

取組の紹介

GAPに取り組んだきっかけ

- H24年9月の台風、H26年2月の雪害と自然災害に見舞われたことで、ほ場や施設のリスク管理の重要性を痛感。H29年度全国優良経営体表彰の受賞時、優良経営体の多くがGAP認証を取得していることを知り、今後の農業経営においてGAPは必須になると思い、準備を開始。

生産工程管理の改善に向けた取組

- R5から脱炭素型農業の試みとしてバイオ炭施用による炭素貯留に取り組み、環境負荷低減、コスト削減を実現。R5年度の取組ではCO_2排出量を480kg削減。
- 従業員からの提案による作業場改善により、従業員の主体性と協調性を醸成。「従業員目線」の提案・合意の形成を経て、従業員同士の連帯感を創出。
- 栽培から労務までを一括して管理できるオリジナルソフトを会計事務所と共同で作成。自社の作業体系に合わせた入力フォームを作成し、栽培の記録、肥料・農薬の使用履歴、在庫管理、収穫量、雇用管理を一括して実施。

従業員による作業場改善
（疲れにくい高さにした自作の調製作業台及びはめ込み式の雨戸）

国太郎オリジナルソフト　入力フォーム

生産効率性の向上に向けた取組とその効果

- 同一ハウスで収穫から次作の播種までを一日で完結させる効率的な作業体系「国太郎農法」により、ハウス利用年間9回転（地域慣行栽培では年間6～7回転）を可能とし、限られた施設を有効活用。

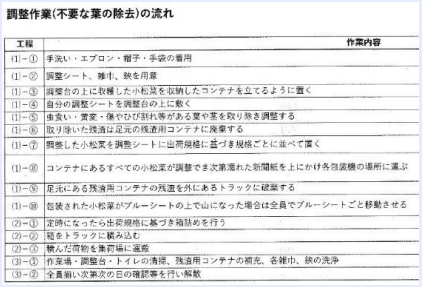
「国太郎農法」による収穫及び除草・残渣処理

経営の改善に向けた取組とその効果

- 年齢による偏見を持たない「脱エイジズム」実現のため、作業工程の分業化、作業内容の単純化及びマニュアル化を行う。従業員は20代～80代と幅広く、65歳以上が半数以上で、高齢化による労働力不足の解消と、「社会とつながりたい」という高齢者のニーズに対応。

地域への波及効果

- R2から群馬県農業経営・就農支援センターの担い手支援スペシャリストとして、認証取得を希望する経営体への認証取得に必要な書類作成の支援や研修会での講演を通じてGAPを普及。



調整作業(不要な葉の除去)の流れ

工程	作業内容
(1)－①	手洗い・エプロン・帽子・手袋の着用
(1)－②	調整シート、雑巾、鋏を用意
(1)－③	調整台の上に収穫した小松菜を収納したコンテナを立てるように置く
(1)－④	自分の調整シートを調整台の上に敷く
(1)－⑤	虫食い・黄変・傷やひび割れ等がある葉や茎を取り除き調整する
(1)－⑥	取り除いた残渣は足元の残渣用コンテナに廃棄する
(1)－⑦	調整した小松菜を調整シートに出荷規格に並べ替え規格ごとに並べて置く
(1)－⑧	コンテナにあるすべての小松菜が調整でき次第濡れた新聞紙を上にかけ各自調整の場所に運ぶ
(1)－⑨	足元にある残渣用コンテナの残渣を外にあるトラックに破棄する
(1)－⑩	包装された小松菜がブルーシートの上で山になった場合は全員でブルーシートごと移動させる
(2)－①	定時になったら出荷規格に基づき箱詰めを行う
(2)－②	箱をトラックに積み込む
(2)－③	積んだ荷物を集荷場に運搬
(3)－①	作業場・調整台・トイレの清掃、残渣用コンテナの補充、各雑巾、鋏の洗浄
(3)－②	全員揃い次第次の日の確認等を行い解散

調製作業のマニュアル